高校生への読書活動実態調査アンケート　調査報告

調査概要

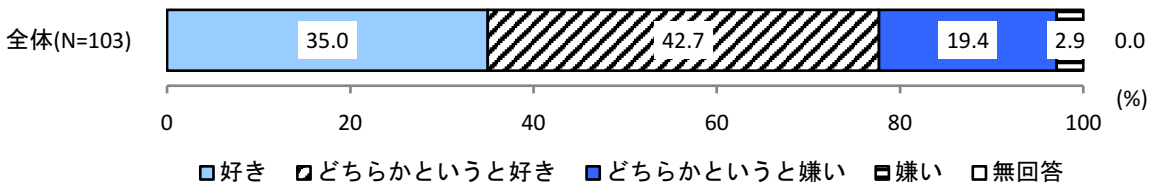
・対象：市内公共図書館に来館した高校生
・期間：令和元年７月～８月
・方法：配布、回収

回収状況

・配布人数：103
・回答数：103

調査の結果

「読書が好きか」との問いに対する回答割合

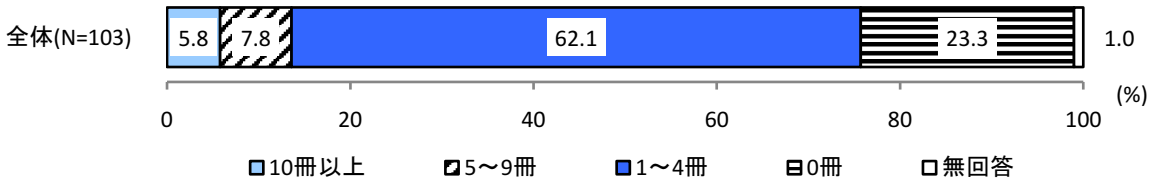


市内公共図書館を利用している生徒に回答を求めたため、「好き」、「どちらかというと好き」の合計が77.7%と、中学生の回答より高い率になっている。

「どんな本を読んでいるか」との問いに対する回答割合

回答のうち５割以上が「物語（小説、ライトノベルなど）」を読んでいると回答している。

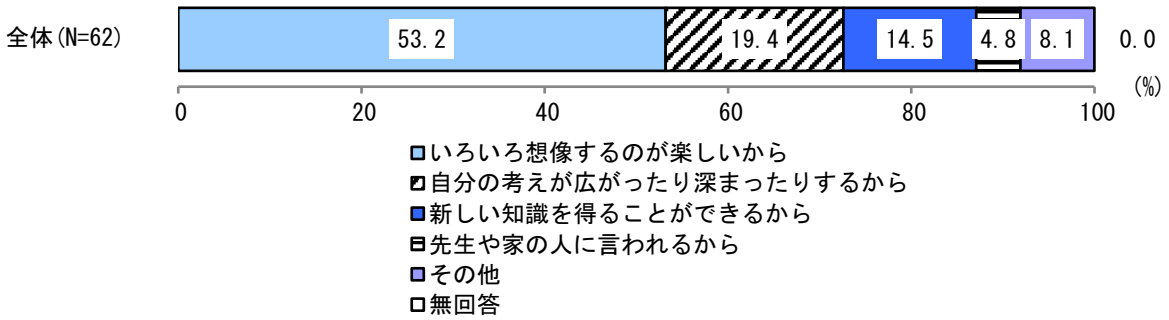
1ヶ月の読書冊数の回答割合



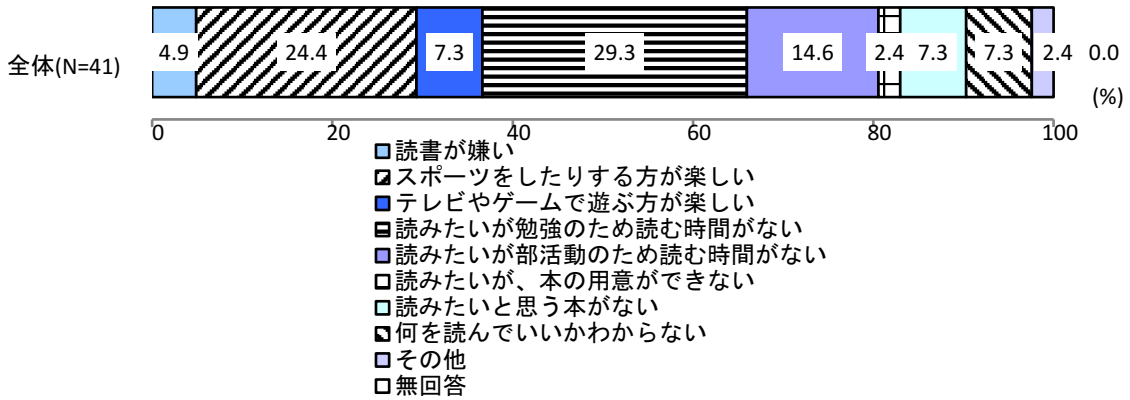
０冊が23.3%であるが、全国的な調査の高校生の不読率（55.3%）と比較すると、かなり低い割合である。

本を読む理由、読まない理由

読む理由



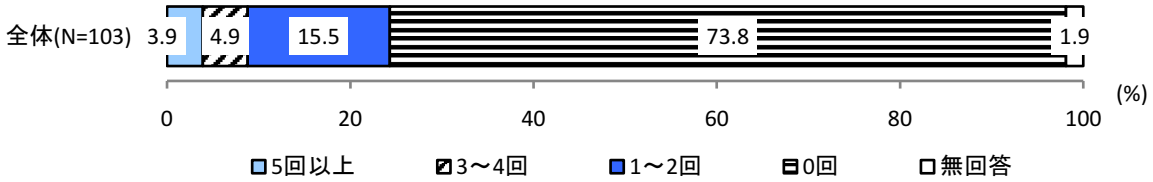
読まない理由



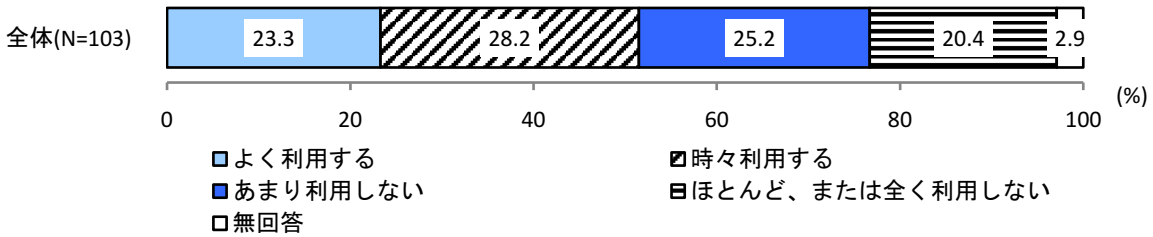
読む理由では「いろいろ想像するのが楽しい」が最も多く、半数を超えている。
読まない理由では、「読む時間がない」、「スポーツの方が楽しい」が多い。

学校図書館や学校以外の図書館の利用状況

1週間に何回くらい学校の図書室を利用するか



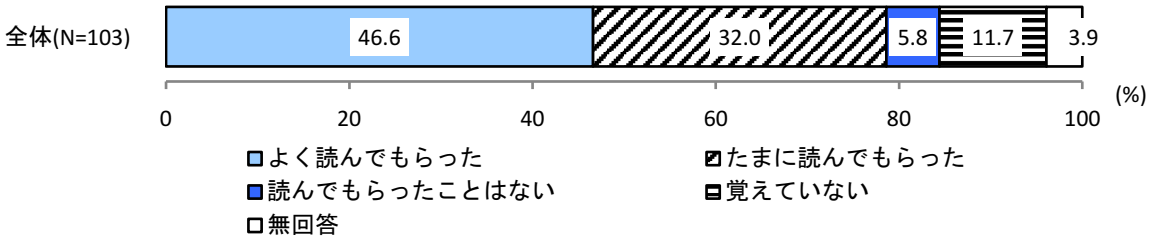
学校以外の図書館を利用するか



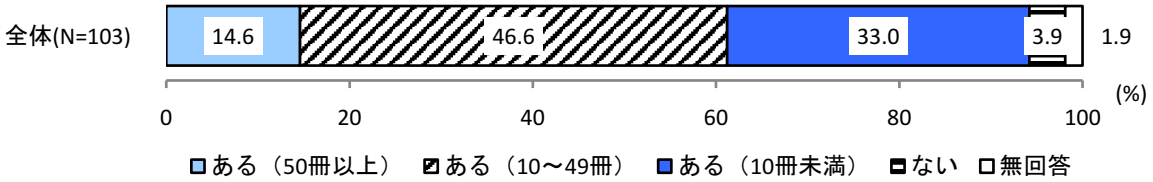
「1週間に何回くらい学校の図書室を利用するか」では、「０回」が７割を超えた。

家庭での読書環境

小さいころに、家の人に本をよく読んでもらったか

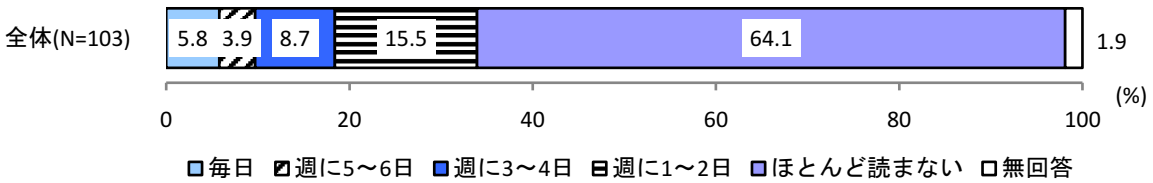


家に自分の本を持っているか



「小さいころに家の人に本をよく読んでもらったか」で、「よく」が45%以上で「たまに」と合わせると８割近くになる。「家に自分の本があるか」については、「10冊未満」の生徒が３分の１程度いる。

パソコン、スマートフォンなど、紙の本以外で読書をするか



「紙の本以外で読書をするか」は、35%近くが、「紙の本以外で読書する」と回答している。